

# 事業報告書

社会福祉法人 たいむ共生会

埼玉県久喜市下清久 686-4 B101

## 第4期

(自) 令和 5年 4月 1日

(至) 令和 6年 3月 31日



社会福祉法人  
たいむ共生会

## 1. 令和 5 年度 法人運営総括

令和 2 年 2 月 25 日の『社会福祉法人たいむ共生会』設立から早いもので 4 年が経過しました。今年度は長年の念願であった新グループホーム「ケアホーム・タイムさくら」が完成し、10 月より 6 名の方にご入居いただいて運営を開始することができました。

令和 5 年度の決算につきましては、事業活動計算書におけるサービス活動収益合計は約 329 百万円と前年度を約 16 百万円下回る結果となってしまいました。一方でサービス活動費用合計は約 333 百万円となり前年度から約 1 百万円の増加、サービス活動増減差額、経常増減差額共に約 4 百万円の赤字となりました。

特別増減の部はケアホーム・タイムさくらの建設に伴う補助金が 180 千円あったものの、国庫補助金等積立額の計上分等を差し引いて約 588 千円の赤字となり、最終的な当期活動増減差額は 4,772 千円の赤字となりました。

赤字の要因としましては上記にもありました収益の減少が大きく、障害福祉サービス事業においては、日々利用していた方の入所により利用が減少してしまった事や、土曜・日曜は利用の需要があるにも関わらず、人手不足でお断りをしなければならない事が挙げられます。

生活介護や放課後等デイサービスにおいては、前年度まであった新型コロナウイルス感染症における在宅支援制度が無くなりましたが、依然として新型コロナウイルス感染が要因の欠席が続き、収益の減少に直結する要因となってしまいました。

令和 6 年度も引き続き、新型コロナウイルスをはじめ、インフルエンザ、溶連菌など、感染症防止対策を安全衛生委員会と共に徹底し、利用者・職員等の安全と安定的な事業運営に取り組んで参ります。

経営環境としましても、物価上昇の勢いに依然として注視が必要な中、グループホーム建設に要した借入金の返済も始まり、支出面に神経を尖らせざるを得ない状況です。また、障害福祉サービス等報酬改定が実施され、6 月からは厚生労働省による福祉・介護職員の処遇改善制度も大きく見直されます。前年度から収入・支出共に大きな変化が見込まれる中、安定した人材の確保と共に、法人として将来を見据えた運営に取り組む必要があると認識しております。

一方、新通所施設(児童発達支援・居宅介護事業所等)の建設に向けては、久喜特別支援学校隣接の予定地について、所有権移転・開発行為許可まで完了している段階となっております。

埼玉県施設整備補助金を利用した建設を検討していましたが、新型コロナウイルス感染症や、震災の復興に国の予算が当てられ、社会福祉施設等への予算が大幅に削減となってしまいました。県担当者とも協議しましたが、現状申請しても採択は難しいとの回答でした。

このため予定地の造成工事・施設建設については実現に向けて、法人の財務状況、社会情勢を鑑みて、様々な観点から慎重に協議を重ねて参りたいと考えております。

## 2. 令和5年度 各拠点・事業別統括

### ① タイム（障害福祉サービス・移動支援・生活サポート／福祉有償運送）

タイムの事業は、前年度ほどではないものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、支援のキャンセル等がまだ見受けられました。コロナを始め感染症の対策に関しては法人全体で取り組み、ご利用者に安心して安全にご利用いただけるよう、今後もしっかり取り組んでいきたいと思っております。

平日の日中の利用枠はまだ空きがありますので、居宅介護・身体介護・重度訪問・同行援護の利用者を重点的に増やしていきたいと思っております。逆に土日や祝日の利用は、支援者不足のためお断りすることが続いており、支援者の確保・育成が課題となっております。

#### 本年度の成果（障害福祉サービス）

- ・感染症対策として消毒・手洗い・体調管理・換気等を徹底して行ったことにより、感染を広めることなく支援することができた。
- ・連絡ノートを1日1枚の日誌式にし、管理者のチェックを漏れないようにした。
- ・常勤パート、職員が1名ずつ増え、日常業務がスムーズにいくようになった。
- ・日常業務を他職員で回せるようになったので、シフト組が早く終わるようになってきた。
- ・サービス提供責任者が協力しあい、サ責業務を充実出来るようになってきた。
- ・常勤パートの方が、掃除担当になってくれたことで、事務所・フリースペース等が清潔に保たれている。
- ・職員同士・利用者様とのコミュニケーションが取れてきている。

### 本年度の反省・課題（障害福祉サービス）

- ・職員同士のコミュニケーションの中で、否定的・消極的な発言が出るときがあるので、その都度注意していきたい。
- ・平日の新規支援を時間と相談しながら、増やしていきたい。
- ・環境整備を行う。
- ・避難訓練等を計画的に出来なかったもので、必ず行う。
- ・ひやりはっとの検証をしっかりとやる。

### 本年度の成果（移動支援）

- ・職員・パートナー間のコミュニケーションを密にできたため、利用者様の状況や支援内容などの共有ができました。
- ・事務業務を分担できました。効率よく進めることができたので、残業時間の軽減につながりました。
- ・常勤パート、職員が1名ずつ増え、日常業務がスムーズになりました。
- ・他事業所の管理者と連絡を取り合い、お断りを減らすよう努力した。

### 本年度の反省・課題（移動支援）

- ・サービス依頼書など書面作成にかかる時間がとれませんでした。
- ・土日の人員が不足していて、利用者様のご依頼にお応えできないことが多々ありました。
- ・利用者様の持ち物の紛失が目立ちました。管理をしっかりとお願いしたいです。
- ・タイムの理念でもある、「利用者様によりそう」という姿勢をパートナーさん、職員に浸透させていきたいです。

### 本年度の成果（生活サポート）

- ・職員・パートナー間のコミュニケーションを密にできたため、利用者様の状況や支援内容などの共有ができました。
- ・事務業務を分担できました。効率よく進めることができたので、残業時間の軽減につながりました。
- ・常勤パート、職員が1名ずつ増え、日常業務がスムーズになりました。
- ・他事業所の管理者と連絡を取り合い、お断りを減らすよう努力できました。

### 本年度の反省・課題（移動支援）

- ・サービス依頼書など書面作成にかかる時間がとれませんでした。

- ・土日の人員が不足していて、利用者様のご依頼にお応えできないことが多々ありました。
- ・利用者様の持ち物の紛失が目立ちました。管理をしっかりとりたいです。
- ・タイムの理念でもある、「利用者様によりそう」という姿勢をパートナーさん、職員に浸透させていきたいです。

## ② ツリーぴあ（生活介護・地域交流）

生活介護事業所ツリーぴあは 20 名の利用者様が通っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で自宅待機になってしまう日や、ぴあまつりの開催も小規模になってしまうなど、まだまだ予断を許さない状況にあると感じます。コロナ禍の影響で、販売物の生産や内職の活動から、絵や工作など創作の時間を増やす活動にシフトしていきましたが、季節ごとの素敵な作品が完成し、ツリーぴあの活動の根幹として定着しました。

自家焙煎たいむは、年度途中より開店時間を短縮しての営業となりましたが、インターネット上の口コミ効果もあってか、新規のお客様も増えてきました。新規の注文に対応すべく、ツリーぴあの利用者様の力も借りながら、豆の焙煎が出来るスタッフをさらに増やしていきたいところです。

### 本年度の成果（ツリーぴあ）

- ・利用者様の班編成に伴い、作業部屋(バリ室・水耕室)を各班で使用する部屋に展開していく事で、利用者様を分散する事や利用者様にとって落ち着ける場所が出来た。利用者様同士の衝突による他害行為の軽減にも繋がった。
- ・製品作りや水耕作業・自家焙煎(カフェ)に関われるスタッフを増やしていく事が出来た。
- ・月 2 回設けている職員会議以外でも、早急に解決すべき課題が出た時は、その都度解決していく体制をとった。
- ・季節ごとの創作活動に取り組み、その作品を表現活動に展示させて頂き、多くの方に観てもらおう事が出来た。
- ・イスや製品等を市役所販売やイベント等で販売する事が出来、外部の方やぴあ支援員による購入がありました。
- ・引き続き、仕事の役割分担の見直し、偏りを軽減出来ていた。
- ・職員やパートからの声を吸い上げる事で対策をとりいれつつ、風通しの良い環境をつくれていた。

### 本年度の反省・課題（ツリーぴあ）

- ・職員の大抵が送迎に出ている為、朝のミーティング時に報告・連絡事項が行き届かない時があった。

- ・支援における対応事項の報告が管理者・サビ管に無かった事があった。
- ・日中にぴあ会議や支援会議を設ける事が困難な為、会議時に全体での話し合いや、共有するといった事が出来なかった。
- ・引き続き、製品を作れる人や、自家焙煎(カフェ)に関わるスタッフを増やしていきたい。
- ・ヒヤリハット事案があった件数に対して、報告書が比例して出ていないので、引き続き提出してもらうように声掛けが必要。
- ・スタッフの入れ替えもある中で、既存スタッフの底上げが必要と前年度終盤から議題で取り上げていた中、継続して行っている。

### ③ ケアホーム・タイムわかば／さくら（共同生活援助）

ケアホーム・タイムはついに新棟「ケアホーム・タイムさくら」が完成し、10月より開所することができました。完成に伴い、わかば棟からさくら棟に移った方、それぞれに新規入居される方もいて、スタッフの入れ替え等もあり大きく環境が変わる中での生活となりました。本人もご家族も不安が大きい中でのスタートであったかと思いますが、スタッフの努力もあり、特に大きな問題も無く皆様過ごすことができています。

わかば棟は建設から10年を超え、外観・内装共に劣化してきた部分が随所に見受けられるようになりました。計画的な修繕計画と予算の策定と共に、施設内の環境整備や衛生管理も引き続き徹底し、安心・安全な暮らしを保っていけるよう努めます。

#### 本年度の成果（ケアホーム）

- ・利用者さまの特性に合わせて支援できるようになった
- ・家族で生活しているのではなく、仲間と共同生活をしているという意識付けができた
- ・支援員と世話人が協力し、お互いの仕事を助け合うことができた。
- ・利用者様中心の支援をするようにこころがけた。
- ・大きな事故や怪我もなくすごすことができた。
- ・10月から入った利用者様が、長期に自宅に帰ることなく、ケアホームに早い段階で慣れてくれた。
- ・新しい利用者様が一日も早く慣れてくれるようにスタッフがいろいろ工夫してがんばってくれた。
- ・利用者様が、通所時間に変更になっても臨機応変に対応することができた。
- ・さくらが建って、利用者様の入れ替えがあったが、特におおきなトラブルもなく過ごすことができた。

#### 本年度の反省・課題（ケアホーム）

- ・保護者様からの要望や通所事業所からの連絡等の情報共有ができなかった。
- ・個別支援計画書に基づいた支援ができないところがあった。
- ・会議で話し合いをし、実行に移すが、時間が経つと崩れてしまった。
- ・利用者様の心の変化や不穏時に、どのように支援・言葉がけをしたらよいか分からなくなってしまうことがあった。
- ・業務日誌を活用することができなかった。
- ・凡事徹底ができなかった。
- ・通所事業所との関係づくりを大切に、利用者様の情報を共有していく。
- ・個別支援計画書をしっかりと把握し、それに沿った支援を心がけていく。
- ・支援員中心ではなく利用者様中心の支援をしていく。
- ・新たに決まった方向性などを、速やかに共有していくようコミュニケーションをしっかりとっていく。
- ・自己決定支援ができるように利用者様に寄り添った支援をこころがける。
- ・「報告・連絡・相談」をその場にいる支援員・世話人とできるようにしていく。
- ・業務日誌を使っての「報連相」を徹底していく。特に大切と思われることは、個々に連絡をして伝えていく。
- ・スタッフが休暇を取ったときの、代替りのスタッフの育成。
- ・夜勤スタッフの育成。

#### ④ タイムこどもデイサービスゆっく／りずむ／かのん／めろでい（児童発達支援・放課後等デイサービス）

児童発達支援および放課後等デイサービスは、「ゆっく」「りずむ」「めろでい」「かのん」と4事業所で活動をしています。令和2年度以降、コロナ禍の影響で活動が大幅に制限される形でしたが、課外での活動や、他デイとの合同イベントも再開でき、徐々に本来の活動の形を令和5年度は取り戻すことができました。引き続き、手指消毒や検温など健康管理に注意し、安全で楽しい時間を過ごせるよう努めてまいります。

#### 本年度の成果（ゆっく）

##### <午前の部（児童発達支援）>

- ・保護者様方々を招いての、運動会、クリスマス会では大勢の方に参加していただき、とても楽しく行事を行うことができた。
- ・卒園生の保護者様に、「まだゆっくに通いたい」と涙を浮かべながら話され、スタッフをととても信頼してくださっているのを感じた。

- ・消防署の方に立ち会っていただき計画通りに通報、避難訓練を実地した。スムーズにできていると褒めていただけた。

#### <午後の部（放課後等デイサービス）>

- ・学校がある日のお散歩はだいたいおなじコースを通っているため、下校中の小学生や近所の人から挨拶をしてもらえることが増えた。
- ・季節の行事を取り入れ、長期休みはいつもと違うお散歩コースや公園に出かけたことで活動にメリハリをつけられた。

### 本年度の反省・課題（ゆっく）

#### <午前の部（児童発達支援）>

- ・ロッカーや送迎車に忘れ物をすることがあった。
- ・スタッドレスタイヤを装着していない送迎車もあり、雪の日は保護者の方に送迎をお願いした。
- ・外国籍の保護者が多いので、十分な理解を得るために丁寧に説明をする。
- ・一人遊びを十分にさせながら友達との関わりを増やしていく。

#### <午後の部（放課後等デイサービス）>

- ・忘れ物の確認が不十分で、ロッカー等に荷物が残っていることがあった。
- ・雨の日等で室内の活動になった時に似たような活動になってしまった。
- ・保護者会を開き作業書や将来についての情報交換をしたい。
- ・帰る時にスタッフ同士で忘れ物がないか声を掛け合う。
- ・室内での活動のアイデアを事前に出しておき、準備しておく。

### 本年度の成果（りずむ）

- ・庭で野菜の栽培を行い、収穫を行った。
- ・月二回の事業所内会議を行い、支援計画の周知、日々の活動の情報共有を図る。ヒヤリハットの見直しや確認を行い危険行為や危険箇所の見直しも行った。
- ・ハロウィン、クリスマス会、節分、夏祭り、卒業式等。季節ごとの行事をスタッフの方が中心となって企画し、取り組んだ。
- ・公共機関を使っての外出を行ったが、大きなトラブルなく無事に行うことができた。



### 本年度の反省・課題（りずむ）

- ・夏休みの過ごし方。気温が高く熱中症の危険もあり、外へ出かけることが少なかった。りずむ内の活動としてプールを行っているが、入らずに過ごす利用者も増えた。子供用のビニールプールでは物足りないのかもしれない。長期休みの室内での過ごし方を考える必要がある。
- ・手洗いや手指消毒など、声掛けせずとも行う子が増えたため、スタッフの意識が緩んでいる所もある。低学年の利用者が増えたので、気をつけていきたい。
- ・事故やヒヤリハットが起こった後の話し合いは行っているが、その前段階としての振り返りが少なかった。気づきシートなどを活用してみるのもいいかもしれない。

### 本年度の成果（かのん）

- ・かのんの目標である会議での話し合いの向上が今年度も図れました。一人一人が意見を言えるようになってきました。出席率も上がっています。
- ・今年度も新規の利用者とめろでいから、かのんに移った利用者が成長できたと思っています。
- ・保護者からの質問などに対してスタッフ内で共有し協力して問題解決できたと思っています。
- ・在宅支援もなくなり、欠席が多かったですが、特定の利用者に臨時で利用してもらい補う事が多くできました。
- ・ヒヤリハットを作成し、スタッフ全員で共有し改善点をあぶり出し改善できたと思っています。
- ・忘れ物や入れ間違いが多かったので、利用者一人一人にカゴを用意して、入れ間違い防止に繋がった。
- ・以前はスタッフを交えないと、子ども同士だけでは遊べなかった子が友達同士で遊べるようになってきました。
- ・かのんのルールが定着してきたので、順番待ちや譲り合いなども出来るようになってきました。

### 本年度の反省・課題（かのん）

- ・かのんに、あまり来たくないという利用者が出てきてしまいました。サービスの向上を。
- ・活動する場所が同じになってしまいがちでした。
- ・少し孤立的な利用者への配慮。
- ・担当スタッフ制度では、ないので、まだ全体に目が行き届いていない場面が多々ある。
- ・今年度から毎日のミーティング時間が取れるようになったので、前日の利用者達の様子や問題について共有し、ミーティングに出られないスタッフには、今年度から（ミーティング記録ノート）を新たに作ったのでノートを読んでもらい前日の事や自分が勤務の日ではないスタッフの「知らなかった・・・」

を無くし連絡事項を常に把握してもらい、さらなる発展につなげていきたいと思います。

- ・変わらず会議の時に入念に話し合いをし、有意義な会議になるよう努めて行きたいと思います。
- ・日々の活動の幅が広がるように工夫して行きたいと思います。
- ・「かのんに行きたいと思ってくれるように日々努力をして行きます。
- ・少し孤立してしまっている利用者へのケア。
- ・思春期の利用者に対する対応。
- ・専門的支援や農作業の試み。
- ・日々、利用者をよく観察し「この子は大丈夫。」「この子はこれはしない」など勝手に決めつけないように。

#### 本年度の成果（めろでい）

- ・5月からコロナが5類に移行されてから子どもたちはマスクを外す生活になりました。しかし今までの流れもあり車に乗る時はマスクをつけている子が多かった。
- ・登校時の玄関での消毒や手洗いうがいが習慣になっています。また室内や車内の換気や消毒などの予防も行いました。
- ・おやつ時間はテーブルを分けてパーテーションを置き、少人数座るようにしています。「一人ずつ袋分けされたおやつ」を配るお手伝いもしてくれるようになりました。子どもたちからの要望もあり手作りおやつ(ホットケーキ、焼きそば)なども行いました。
- ・食物アレルギーの利用者さんがいるので、おやつ後の掃除機やモップ掛けを行いました。子どもたちの中には、お手伝いをしてくれる子も出てきました。
- ・言語音楽療法士による「ぴんぽん」の時間が定着し、「なべなべそこぬけ」や「線路は続くよどこまでも」など子どもたちが音楽療法を楽しみながら、歌や文字に触れて参加することができました。学校の教科書の音読も取り入れました。
- ・デイ合同の夏祭りやクリスマス会に向けて話し合い、準備したり練習したりして当日も落ち着いてまとまった発表ができ、成果が得られました。ダンスに関しては今も続いていて夕方ダンスの時間を設けて楽しんでいます。
- ・めろでい会議で個別の課題、最近の様子をスタッフ間で共有するよう努めました。
- ・地震や火災、水害を想定しての避難訓練を行いました。事前に説明したこともあり、慌てずに避難できました。また動かなくなりそうな子には CD カセットを持たせ大好きな歌を聞きながら避難する等、工夫しました。

## 本年度の反省・課題（めろでい）

- ・帰りの支度の際、忘れ物の無いよう声掛けをしましたが、水筒やマスク、靴下等の忘れ物がありました。
- ・連絡帳の書き方について要望があり、会議で話し合いました。保護者からの自宅での様子等についてコメントし、良かった出来事等を伝えるように、また誤字脱字にも気をつけます。
- ・学年も上がり大きくなってきたので自分でできることは見守り、過度な声掛けや手を貸しすぎないようにします。
- ・会議の内容を共有しながら個々のニーズに合った支援を行います。
- ・小麦アレルギーの利用者様がいたので、引き続きおやつの時間の対応を徹底して行っています。
- ・夏祭りやクリスマス会等の合同イベントや季節の制作、行事も取り入れて子どもたちが主体となれるよう声掛けをし、活動していきます。

## ⑤ タイム相談支援（計画相談支援・児童相談支援）

平成 25 年から始まった相談支援事業も開始から10年を超え、利用者様との信頼関係が深まっているのを感じています。新規の利用者様やまだ相談を開始して間もない利用者様とも深い信頼関係が築けるよう努めてまいります。

## 本年度の成果（相談支援）

- ・サービス等利用計画やモニタリングを、通年通り受給者証に沿って行うことが出来た。
- ・コロナが5類になり規制も緩和されたが、十分な感染対策をしたので事業所内感染もなく、面談や外部のモニタリングも直接出来るようになった。
- ・新規の利用者様も増え、新しい施設を見学するなど、関係施設との支援会議等、連携を深めることが出来た。
- ・定期的に利用者様と面談をしているので、信頼関係が更に深まってきている。
- ・利用者様が利用している施設に訪問し、施設の方との情報の共有ができた。
- ・面談の時に利用者様のニーズの把握に努め、ニーズに合った施設を探し、日数や時間数を確保できるように努力した。
- ・利用者様の問題解決に取り組み改善することが出来た。
- ・相談支援員同士で、情報の報告・共有・相談が出来た。
- ・相談員同士の信頼関係も深まり、ストレスのない職場環境になっている。

## 本年度の反省・課題（相談支援）

- ・令和6年の4月に就学・就労する利用者様が多く、3月までに作成しなければいけない状態だったので、相談業務が思うように進まない時があった。
- ・問題のある利用者様に目が向きがちで、サービス担当者会議も偏ってしまい、幅広く会議を持つ時間の余裕がなかった。
- ・研修にはできるだけ参加したが、振り返りが完全ではなかった。
- ・きめ細かなサービスの提供を目指して、多くの利用者様のサービス担当者会議を開催する。
- ・研修したことがより良い相談支援につながるよう努力する。

## ⑥ 事務局・その他

『親の会』から始まり、『NPO 法人ハローハンディキャップ・タイム』となり、そして社会福祉法人に変わって5年目になろうかというところですが、「親たちが孤立することなく支え合いつながっていけるよう」の当初の理念を忘れず、運営を続けて参りたいと思います。

## 本年度の成果（事務局）

- ・新グループホーム「ケアホーム・タイムさくら」を無事に建設・開所することができた。
- ・新型コロナウイルスが5類感染症になったが、感染症対策を役職員一体となり行ったことで、事業運営の確保がなされた。
- ・県の「ケアホーム・タイムわかば」監査、並びに市の「パートナー・タイム」の監査を、指導事項もなく無事に終えることができた。
- ・虐待防止委員会、安全衛生委員会を継続的に開催することができ、大きな事故防止につなげることができた。
- ・コロナ禍で自粛を余儀なくされていたイベント類も、縮小した形ながら開催・参加できるようになった。
- ・月次の決算を行うことで経営状況の早期の把握ができるようになった。
- ・行政の補助金で、介護ロボットスーツや車輛の置去り防止装置等の備品を購入することができた。
- ・物価高の影響が懸念される中、行政の補助金を積極的に申請することで支出を補えた。
- ・職員へ積極的に資格取得や研修を奨め、個人が可能になったサービスの幅を増やすことができた。
- ・「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」による職員の処遇改善に努めた。
- ・法人全体で絵画や工作など創作活動に力を入れ、障害者アート展「たいむぼくらのアート展」を4年連続で開催することができた。

## 本年度の反省・課題（事務局）

- ・諸規程の職員への浸透が不十分な面があるため周知徹底をし、規程に沿った運営を順守していく。
- ・新通所施設の建設に向けて進捗が留まっているので、社会情勢、財務内容も踏まえ、理事会・評議員会での議論を進めていく。
- ・新型コロナウイルス感染症は引き続き発生するものと考え、事業所内の清掃・消毒を徹底し、感染症防止に努める。
- ・定員や利用枠が空いている状況がまだあるので、新規の利用者様の確保を模索する。
- ・寄付金の額が前年より大幅に減少してしまったため、税額控除の制度も周知すると共に、寄付金を積極的に募る。
- ・車輛の事故が前年より増加してしまったため、安全運転講習の徹底と、運転適性検査を職員に受講させ、個々の安全運転への意識を高める。
- ・職員の残業時間が高い水準で続いているため、残業時間の管理と共に、業務内容を明確化し、各事業所の業務管理を徹底する。
- ・消防避難訓練等の実施を計画的に、かつ実際の状況を踏まえた訓練を行えるようにする。
- ・オンラインコミュニケーションツールの利用が活発化してきたが、情報漏洩や公私混同のリスクが高まっているため、職員のネットリテラシー教育を行う必要がある。
- ・様々な事案に対し、事務局内部だけで結論を出すのではなく、顧問の社労士・税理士等のアドバイスも受け、法人運営・管理を遂行していく。
- ・地域での法人の認知度がまだ低いため、地域との連携、さまざまな団体・関係機関とのネットワークづくりを積極的に行い、障がい児・者、及び法人への理解者、支援者を増やす。

### 3. 令和5年度 理事会・評議員会開催実績

#### <理事会>

##### ・第1回 理事会

開催日時： 令和5年6月1日（木） 10時00分～11時00分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

##### (1) 提案事項

第1号議案 令和4年度計算書類、財産目録及び事業報告等の承認について

第2号議案 定時評議員会の開催日時・場所、議題及び議案の決定について

第3号議案 評議員・選任解任委員の選任について

第4号議案 評議員・選任解任委員会の開催決定及び同委員会に推薦する評議員候補者の決定

第5号議案 評議員会で選任する理事・監事候補者の決定

第6号議案 令和6年度施設整備補助事業（複合社会福祉施設（通所）建設）の申請について

第7号議案 理事及び監事並びに評議員等報酬の額について

(2) 報告事項

① 独立行政法人福祉医療機構金銭消費貸借契約について

② 独立行政法人福祉医療機構抵当権設定契約について

③ 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・第2回 理事会

開催日時： 令和5年6月22日（木） 10時50分～11時25分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 理事長及び業務執行理事の選任について

第2号議案 重要な役割を担う職員の選任について

第3号議案 役員及び監事に対する報酬等の支給の基準について

第4号議案 複合通所障害者施設たいむ造成工事について

第5号議案 令和6年度施設整備補助事業（複合社会福祉施設建設）の申請について

(2) その他

・第3回 理事会

開催日時： 令和5年10月27日（金） 10時00分～10時50分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 評議員・選任解任委員会の開催決定及び同委員会に推薦する評議員候補者の決定

第2号議案 第2回評議員会の開催について

第3号議案 定款変更（基本財産の追加）について

(2) 報告事項

- ① 令和5年度中間決算報告について
- ② 融資関係報告（福祉医療機構・埼玉りそな銀行）について
- ③ 共同募金の助成について（決定通知）
- ④ 監査結果について

(3) その他

・第4回 理事会

開催日時： 令和6年1月25日（木） 10時00分～10時30分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 令和5年度事業計画（補正予算）の一部変更について

第2号議案 第3回評議員会の開催について

(2) 報告事項

- ① 令和5年度決算見込みについて
- ② 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・第5回 理事会

開催日時： 令和6年3月27日（水） 10時00分～10時50分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 令和6年度事業計画（案）の承認について

第2号議案 第4回評議員会の開催について

第3号議案 重要な役割を担う職員の選任について

第4号議案 社会福祉施設総合損害補償契約の件について

(2) 報告事項

- ① ケアホーム・タイムさくら定員変更の件について
- ② 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

- ① 決算スケジュールについて
- ② 来年度の人事について

<評議員会>

・第1回 評議員会

開催日時： 令和5年6月22日（木） 9時45分～10時50分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 決議事項

第1号議案 令和4年度計算書類、財産目録及び事業報告等の承認について

第2号議案 理事及び監事の選任について

第3号議案 理事及び監事の報酬等の額について

第4号議案 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準について

(2) 報告事項

- ① 独立行政法人福祉医療機構金銭消費貸借契約について
- ② 独立行政法人福祉医療機構抵当権設定契約について
- ③ 令和6年度施設整備補助事業（障害者複合通所施設建設）の申請について
- ④ 障害者複合通所施設建設用地造成工事について
- ⑤ 理事長・業務執行理事の執行状況について

・第2回 評議員会

開催日時： 令和5年10月27日（金） 10時50分～11時45分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 決議事項

第1号議案 定款変更（基本財産の追加）について

(2) 報告事項

- ① 中間決算報告について
- ② 融資関係報告（福祉医療機構・埼玉りそな銀行）について
- ③ 共同募金の助成について（決定通知）
- ④ 監査結果について
- ⑤ 理事長・業務執行理事の執行状況について

・第3回 評議員会



開催日時： 令和6年1月25日（木） 11時00分～11時50分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 決議事項

第1号議案 令和5年度事業計画（補正予算）の一部変更について

(2) 報告事項

- ① 令和5年度決算見込みについて
- ② 理事長・業務執行理事の執行状況について

・第4回 評議員会

開催日時： 令和6年3月27日（水） 10時55分～11時50分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 決議事項

第1号議案 令和6年度事業計画（案）の承認について

(2) 報告事項

- ① 重要な役割を担う職員の選任について
- ② 社会福祉施設総合損害補償契約の締結について
- ③ ケアホーム・タイムさくらの定員変更について
- ④ 理事長・業務執行理事の執行状況について